

「地域若者チャレンジ大賞2015」 最優秀総合グランプリを東北の事例が初めて受賞。 大学生が社長の右腕となって新事業を立ち上げ！



富田さんと菅原社長

2015年11月7日に「地域若者チャレンジ大賞2015」※(主催：NPO法人ETIC.)が東京にて開催され、沖縄から北海道まで、全国9地域の実践型インターンシップの代表事例が集結しました。幣団体がコーディネートを行った「リノベーションでまちを明るく」(株式会社菅誠建設工業・仙台市)が東北代表として出場し、全国250事例の中から最優秀総合グランプリに選ばれました。

「古い建物を学生の手で蘇らせよう！」 リノベーション事業・シェアハウス部門の構築プロジェクト」

- 関係者
 - ・菅原清秀氏(株式会社菅誠建設工業 代表取締役)
 - ・富田理恵子さん(東北学院大学4年・菅誠建設工業インターン生)
 - ・築瀬裕子(担当コーディネーター・一般社団法人ワカツク)
- インターン生(富田さん)が行ったこと(社長の右腕として主体的に活動)
 - ①シェアハウスのコンセプトを決定
 - ②オーナーさんへの提案活動→成約獲得。売り上げ:1,100万円
 - ③学生に絞った外装リノベーションコンテストの実施→デザインを獲得
 - ④事業に必要な書類づくり(事業計画書、ルールブック)
 - ⑤広報活動:経営者集会で事業プレゼン、学生との座談会、SNS発信等
- 今後の展開
「インターンシップを10年くらい続けて、仙台のまちに学生がデザインした建物を建てていきたい。まちを明るく、人も集まるようにしたい」(社長)



▲3者でプロジェクトミーティング



▲高校内でのデザイン表彰式

今、地域企業の多くが、人手・アイデア不足に悩んでいらっしやいます。一方、「長期実践型インターンシップ」という方法で、次の事業・仕事づくりや課題解決に大学生と挑んでいる企業があります。そして、その成功を支える、「地域コーディネート機関」の存在があります。

今回は、「企業・インターン生・コーディネーター」の3者がタッグを組み、7か月間、「リノベーション事業・シェアハウス部門の立ち上げ」に取組み、まっすぐな姿勢と結果に対して最優秀グランプリの評価をいただきました。

次の事業を生むにあたって、学生だからこそできたことがあります。本気のタッグで企業と学生、そして地域がどれだけ変わることができるのか、地域の志ある企業様と共に、今後とも追及してまいります。



▲女子高生のデザインが施された。シェアハウスの名前は富田さんの名前をとって「トミリエハウス」

※「地域若者チャレンジ大賞」とは
全国の地域コーディネート機関が組織している「チャレンジコミュニティ」(通称:チャレコミ)の主事業。年1回開催しており、各地域予選を突破した代表事例を表彰しています。
事例から学び合い、長期実践型インターンシップの効果を産学官・地域に広めることも目的としています。

【お問い合わせ先】

一般社団法人ワカツク 担当: 築瀬裕子(やなせゆうこ)
〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町4-7 HSGビル3F

Tel: 022-721-6180 URL: <http://www.wakatsuku.jp/> メール: info@wakatsuku.jp

※取材ご希望の方へ:3者合同での取材を希望しております。企業・学生との連絡調整をいたしますので、お気軽にお問い合わせください。